

第67回

# 高知市文化祭

## 報告書

〔平成27年度〕



第67回高知市展オープニングセレモニー（平成27年5月23日／かるぽーと）

高知市文化祭執行委員会

# 目 次

高知市文化祭執行委員名簿	2
高知市文化祭主催行事	3
高知市文化祭参加行事数・入場者数	6
参加行事報告	
映像部門参加行事	7
演劇部門参加行事	8
音楽部門参加行事	10
舞踊部門参加行事	13
展示部門参加行事	14
文芸部門参加行事	15
その他の参加行事	16

## 第67回高知市文化祭執行委員会

区分	氏名	備考
芸術文化部門	映画	坂本昌隆 映画研究家
	音楽	松村紫乃 高知県三曲協会会長
		坂本雅代 高知県合唱連盟副理事長
		高橋輝雄 高知県民謡協会会長
		上本竹永 高知県漢詩連盟副会長
	舞踊	花柳昌延 高知県日本舞踊協会会長
		伊野友美子 モダンダンス伊野友美子舞踊研究所代表
	演劇	吉本智賀子 劇団ゆまにて代表
		北村絵理 NPO法人高知市こども劇場理事
	文芸	島 総一郎 高知ペンクラブ事務局長
	華道	猪野一鐘 高知県華道協和会専務理事
	能楽	小林容子 高知能楽会理事
	市展	濱田尚川 高知市展代表委員長
	まんが	山北美砂子 高知漫画集団事務局
	県立美術館	長山美緒 高知県立美術館学芸員
文化協会	高橋啓継 高知市文化協会事務局長	
報道	高知放送	高木寿隆 高知放送報道制作局長
	NHK	宮越 亮 NHK高知放送局放送部長
	高知新聞	又川晃世 高知新聞社学芸部長
	高知新聞企業	土橋宏史 高知新聞企業事業企画部長
	テレビ高知	福島和彦 テレビ高知報道・技術センター一次長兼報道担当部長
	さんさんテレビ	梅谷圭二 高知さんさんテレビ報道制作局長

委員長                     花柳 昌延                    

副委員長           高橋 輝雄・北村 絵理          

監 査           上本 竹永・山北 美砂子

第67回高知市文化祭開幕行事  
SUGA.～Spirits Never Die 受け継がれた虹色のバトン～



- ◇日 時 平成27年4月11日(土)19:00～・12日(日)13:00～  
◇場 所 高知市文化プラザかるぽーと大ホール  
◇入場料 一般2,500円／当日3,000円  
学生1,000円／当日1,500円  
◇主 催 高知市文化祭執行委員会、高知市文化協会、スガジャズダンススタジオ  
◇主 管 公益財団法人高知市文化振興事業団、高知市教育委員会  
◇後 援 高知新聞社、NHK高知放送局、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ  
◇出演者 スガジャズダンススタジオ、須賀IZANAI連、セントラルグループよさこい踊り子隊、  
一般公募の参加者、岡野弘幹、信藤真実、TEN、濱長芸妓連、Dai、児玉宝謹、  
宮下JODY天空 計100人  
◇入場者 1,360人(2日間合計)

## 第67回 高知市展

- ◇開催日 平成27年5月23日（土）～6月7日（日）  
 ◇会場 高知市文化プラザかるぽーと 7階市民ギャラリーほか  
 ◇入場料 前売300円 当日400円  
 ◇鑑賞者 2,829人  
 ◇美術体感イベント「あなたダビンチ ぼくピカソ」 5月31日（日）午後1時～4時  
 前広場・公民館施設（6部門6ブース・4部門5ブース）  
 フリーパスポート500円（490枚）



◇出品者・出品数・イベント参加者

部 門	出品者(前回)	出品数(前回)	北見市 交流作品	美術体感イベント 参加ブース名	参加者数
絵 画	77 (81)	92 (91)	4 (4)	なんでもアート	1,500
日本画	37 (34)	47 (42)	3 (3)	WASARAわさら♡にお絵かき	400
書 道	112 (136)	112 (136)	10 (10)	筆と遊ぼう	700
先端美術	22 (14)	22 (15)			
彫 刻	35 (38)	43 (48)		せっこうメダルをつくろう	550
				おもしろ鑑賞ツアー	80
陶 芸	63 (52)	120 (85)	3 (2)	粘土であそぼう	350
工 芸	36 (31)	55 (46)	— (1)	楽しいペーパーボックスづくり	130
写 真	67 (67)	112 (120)	11 (11)	カメラをつくって写してみよう	44
ペン字	99 (82)	103 (83)		字は楽しく書くのが一番	206
デザイン	15 (18)	20 (23)		楽しいキーホルダー作り	420
				村岡センセイと4コマまんがを 楽しもう!!	45
合 計	563 (553)	726 (689)	31 (31)		4,425

# 第67回 高知市展 関 連 行 事

子ども対象の美術体感イベントとは別に、部門の振興を図ることを目的に研究会や講習会を開催。

## 講習会

部 門	日 程	参加者	会 場	内 容	
彫 刻	全身・抽象	3/3(火)~31(火)	10人	絵画室	18:00~20:30の全12回
	頭 像	3/31(火)~4/27(日)	10人	彫塑・陶芸室	18:00~20:30の全15回
工 芸	3/29(日)・4/5(日)・22(水)	30人	工芸室	一般の方を対象とした「とんぼ玉を作ってみよう！」講習会作品として市展会場に展示。	
陶 芸	4/5(日)	10人	彫塑・陶芸室	一般の方を対象とした「一日作陶体験会」講習会作品として市展会場に展示。	
デザイン	4/26(日)	7人	第2学習室	中学生以上を対象とした「ブレまんが絵師 Lesson」講習会作品として市展会場に展示。	
絵 画	5/9(土)・10(日)	10人	彫塑・陶芸室	一般の方を対象とした「水彩画講習会」講習会作品として市展会場に展示。	
日本画	5/10(日)	10人	絵画室	高校生以上を対象とした「オリジナルWASARAを描こう!」講習会作品として市展会場に展示。	
先端美術	5/24(日)	45人	第3学習室	鞆の津ミュージアム櫛野展正がこっそり教える「おもしろい展覧会はこうやって作る!」講演会。	



## 研究会

部 門	日 程	参加者	会 場	内 容
デザイン	5/24(日)	約10人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
書 道	5/24(日)	約30人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
	6/6(土)	約25人		
絵 画	6/7(日)	約50人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
彫 刻	6/7(日)	約35人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
写 真	6/7(日)	約30人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
日本画	6/7(日)	約30人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
陶 芸	6/7(日)	約15人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究



文化祭参加行事数・入場者数等集計表

部 門	行事数	入場者数	参加行事助成額	行事区分
映 像	6 (7)	611 (736)	117,600 (150,000)	共 催 4 名義共催 2
演 劇	8 (7)	2,498 (2,711)	371,900 (418,000)	共 催 6 名義共催 1 名義後援 1
音 楽	17 (22)	7,007 (7,984)	906,600 (927,500)	共 催 14 特別共催 2 後 援 1
舞 踊	3 (4)	1,114 (3,016)	500,000 (350,000)	共 催 1 特別共催 2
展 示	3 (6)	6,435 (9,258)	285,300 (370,600)	共 催 3
文 芸	4 (4)	792 (998)	250,000 (250,000)	共 催 3 委 託 1
その他	6 (4)	964 (971)	213,600 (183,500)	共 催 4 後 援 1 名義後援 1
合 計	47 (54)	19,421 (25,674)	2,645,000 (2,649,600)	共 催 35 名義共催 3 特別共催 4 後 援 2 名義後援 2 委 託 1

( ) 内は前回の実績数

※「その他」部門への文化祭参加興行映画の入場者数は、この集計には含まれておりません。

## 映像部門(1)

行事名	「地下水道」(アンジェイ・ワイダ監督) +丸井一郎(高知大学名誉教授)講演会「ポーランドの国と人々」		
日・時	4月19日(日) 11:00~計4回 15:00~講演会		今まで邦画を中心に上映していたので、洋画の名作にしたら何人のお客さんが来るのか心配でした。実際は、邦画と客層が違い、老若男女が来館してくれました。『地下水道』はDVD化されていない。ある意味で未来はなく、暗く地下水道に逃げ込んだポーランド市民をナチスが皆殺しにする戦争の悲劇を表現しています。丸井さんの話は、第二次世界大戦での日本人の死者より、ポーランド人の死者が10倍以上いる等と教えていました。
会場	龍馬の生まれたまち記念館	入場者 78人	
主催	小夏の映画会/田辺浩三		

行事名	「悪童日記」(ヤーノシュ・サース監督)		
日・時	4月24日(金) 13:30~計4回		原作への関心から10代も含め幅広い年齢層の方にご覧いただくことができました。制服姿の高校生も見受けられました。映画は、第二次世界大戦の末期、田舎に疎開した双子の兄弟が、過酷な状況を乗り切るために自分たちのやり方でお互いを鍛えあげ、戦時下で見聞きした出来事を克明に記録していくという話で、善悪とは別に、戦争が人間の心や生き方に及ぼす影響について、改めて考えさせられる作品でした。
会場	県立美術館ホール	入場者 176人	
主催	シネマ・サンライズ/吉川修一		

行事名	「幕末残酷物語」(加藤泰監督)		
日・時	6月7日(日) 12:00~計4回		アンケートのご意見・感想「現代を反映した様な気がした。大変良かった」「組織が大きくなると様々な問題が出てくるのはいつの時代も同じだと感じました」「やっぱり大川橋蔵は私たちのヒーローです」等おおむね好評で良かった。個人的なテーマとしてチラシ作りに資料性やデザイン性を盛り込むつもりでしたが、研究家の円尾氏が何にも見ずにスタッフ・キャスト表記を訂正したのは流石だと感じました。私も精進しなければ。
会場	あたご劇場	入場者 103人	
主催	MOVIE JUNKY/西川泉		

行事名	高知・民族文化映像研究所の映画をみる会 第28期(通算81回)上映会「越後奥三面第二部一ふるさとは消えたか」		
日・時	6月28日(日) 9:30~計2回		昨年上映した『越後奥三面一山に生かされた日々』の続編。自然と共生する人間生活や文化、縄文時代までさかのぼる遺跡群が、ダム建設のために消えた。政治の非情を映画は告発する。今こそ示唆に富んでおり、貴重な作品だった。消えた山里を悼みつつ、私たちに立ちほだかる明日を考えるフィルムでした。
会場	自由民権記念館民権ホール	入場者 128人	
主催	高知・民族文化映像研究所の映画をみる会/松吉恵子		

行事名	「博士の異常な愛情」(スタンリー・キューブリック監督) +岩内史子講演会「放射能が人類を終わらせる」		
日・時	6月28日(日) 11:00~計4回 15:00~講演会		当日の朝、試写をして一瞬心臓が止まりかけた。ナント、日本語字幕が無い。急いで、ロンドンのキューブリック事務所に連絡し、今回だけレンタルDVDでプロジェクト上映を許可してもらった。講演会は『放射能が人類を終わらせる』のタイトル。ブラックコメディに、現実が追いついた。笑えない。この催しの中では、一番価値がある催しだった。世界に訴える表現が、たくさんあってもらいたい。
会場	龍馬の生まれたまち記念館	入場者 90人	
主催	小夏の映画会/田辺浩三		

行事名	若杉光夫監督の教育映画. その二 プラスワン		
日・時	6月28日(日) 13:30~3作		教育映画の埋もれた作品を掘り起こして観せる映画会もこれで5回目。視聴覚ライブラリーを会場として提供してくれた図書館に感謝。去年できなかった『少女の誓い』が上映できたことも提供者に感謝。『ちびでか物語』リメイク版の撮り方のテーマに「花」があったという発見が収穫でした。あともう少し動員があれば…。
会場	市民図書館3階視聴覚ホール	入場者 36人	
主催	MOVIE JUNKY/西川泉		

## 演劇部門(1)

行事名	シアターTACOGURA 004 「シアタコのコパNight」			
日・時	5月1日(金) 20:00～21:00 5月2日(土) 20:00～21:00		今回は枠にとられない形のステージに挑戦したく、ショート演目3本の上演と飲食を組み合わせるの企画としました。県内の劇団が取り組んだことのない形に挑戦できたと思います。同じ劇団メンバーを3チームに分けて作品作りをすることなど、バタバタした感はありませんが、観客のアンケートにも手応えがあり、収穫も多かったと考えております。年一回程度、こういった形式の企画を作っていきたいと考えています。	
会場	蛸蔵	入場者		113人
主催	シアターTACOGURA／藤岡武洋			

行事名	高知市民劇場第314回例会 俳優座劇場公演「十二人の怒れる男たち」			
日・時	5月8日(金) 19:00～21:05 5月9日(土) 13:30～15:35		高知市民劇場として3度目の公演となる『十二人の怒れる男たち』は今から60年以上前に書かれた作品ですが、普遍的な魅力とともに、時代時代で訴えるものがある作品でした。演出の西川さんの「少数意見に耳を傾け、疑問のひとつひとつをそれぞれが考え、少しでも真実に迫る姿勢がいまの私たち一人一人に問われている気がする」という思いが、観劇した多くの会員に届いたと感じました。	
会場	オレンジホール	入場者		1,276人
主催	高知市民劇場／塩田正興			

行事名	Alice in Wonderland 大人のための不思議な英語ひろば			
日・時	5月9日(土) 13:00～15:30		今回初めて、対象を大人のみとした英語ひろばに挑戦しました。参加理由は「文法や単語を教えない英語とは?」「英語で劇をするって楽しそう」等、様々でした。今まで見たことのない変わった英語の楽しみ方に皆さん興味を持たれ、仲間と意見を出し合い劇を作ることが楽しかったと感想にもありました。英語を、人と人とのコミュニケーションの道具として、楽しく学ぶことを、今後もラボならではの変わったイベントで紹介していきたいです。	
会場	かるぽーと11階大講義室	入場者		18人
主催	高知ラボ・パーティ／岩本真理			

行事名	喜多流回雪臺高知粟谷会春の会			
日・時	5月10日(日) 12:00～16:00		今回の会は能を一番、予定していましたが、諸事情があり取り止めとなりました。代わりに、連調、独鼓、一調を充実して発表しました。又、徳平元太郎師十七回忌追善とし、プログラムの配付にも力をいれました。結果、入場者は予想を上回りました。今後の運営につきましては、会員の高齢化等抱える問題は多いですが古典芸能による地域文化の向上に役立つよう努力して参ります。この度は色々ご配慮いただき有難うございました。	
会場	県立美術館能楽堂	入場者		250人
主催	喜多流回雪臺高知粟谷会／上岡健二郎			

行事名	高知市子ども劇場高学年例会 「松元ヒロ ソロライブ」			
日・時	5月20日(水) 19:00～20:50		松元ヒロさんのソロライブを例会でとり上げるのは4度目でした。何度みても新鮮に笑えるのは、やはり、その時の社会情勢や世間の話題を取り上げること、ヒロさんが人としてはずれない笑いの哲学をもっていることによるものでしょう。今回の公演も今、多くの人々が感じる怒りやイライラを気持ちよく笑いとはし、チャップリン映画「街の灯」を情緒豊かに語り、ニュース天気マイムでしめくつてくれました。	
会場	かるぽーと小ホール	入場者		121人
主催	特定非営利活動法人高知市子ども劇場／高橋美佐子			

行事名	高知市子ども劇場低学年例会 東京演劇アンサンブル公演「はらっぱのおはなし」			
日・時	5月29日(金) 19:00～20:15		「生まれるはきれい」「生きるは美しい」「生きるは痛い」善悪などない「いのち」そのもの、「自然ないのち」の交流を描いた作品だから語られたセリフの数々。近頃ふえてきた映像を舞台全面に駆使し、出演者全員、ジャンク品をはじめとする楽器の演奏、そして歌。数物と木製イスのみのシンプルな舞台がにぎやかだったり、もの静かだったり、いろんなはらっぱになっていました。	
会場	かるぽーと大ホール	入場者		321人
主催	特定非営利活動法人高知市子ども劇場／高橋美佐子			

## 演劇部門(2)

行事名	シャカカのお芝居 「やりたい放題代官」		
日・時	6月6日(土) 14:00、20:00 6月7日(日) 14:00 (計3回)		今回は子ども達に出演してもらうことで、その保護者や知り合いなど、これまで演劇を見たことのない方にも劇場に足を運んでいただけた。このことは、次回の観客の確保につながるとともに、敷居が高いと思っていた方に演劇の楽しさを感じてもらうことができたと思う。また、会場となったアートゾーンの周知にもつながり、自分達の劇団だけではなく高知の演劇環境の盛り上げにも一役買ったと思う。
会場	蛸蔵	入場者 199人	
主催	シャカカ／岡村実記		

行事名	第27回高知能楽会大会		
日・時	6月7日(日) 9:40～17:20		日頃の稽古の成果を格式ある能舞台で、緊迫感ある演技を発表することができた。目標に対する達成感が得られ、稽古の重要性、継続の必要性を共感することができた。一方、会員の高齢化により会員数が減少傾向にあり、観客も同様に減少しつつある。能楽を広く、身近なものにしていく活動を検討していく必要がある。
会場	県立美術館能楽堂	入場者 200人	
主催	高知能楽会／小林容子		

## 音楽部門(1)

行事名	青峰流至誠吟詠会 第八回春季大会		
日・時	4月12日(日) 13:30～16:00		
会場	高知プリンスホテル	入場者	60人
主催	青峰流至誠吟詠会／佐藤青絹		

「春に3日の晴れなし」と言われる様に梅雨を思わせる様な天候が続く中、幸いにも2日程度の晴れ間に恵まれ青峰流春季大会は無事終了しました。平成26年5月から1年足らずの練習の成果を一同如何なく発揮することができたと存じます。はじめに会歌合吟の後、第一部、第二部競吟に続き過去優勝者の吟詠、指導者の吟詠と続いて、アトラクションは歌謡吟詠・剣詩舞と多彩に発表され充実した一日を過ごすことができました。

行事名	一絃琴の調べ わくら和遊紅会演奏会		
日・時	4月25日(土) 13:30～15:30		
会場	かるぽーと9階和室	入場者	40人
主催	一絃琴わくら和遊紅会／松本遊紅		

当日は好天で一絃琴愛好家の方が遠く高松から来られ熱心にお聴き下さり感謝しています。会員は1人2曲自分の弾き方で演奏をしましたが、全員の合奏はかなり高度な曲でしたので苦労しました。今回は小学6年生の男女4人による「さくら」「少年の日」「けらさん」は大変皆様に喜んで頂きました。あまり普及していない古楽器を小学生が弾くことは大変有意義なことと思います。これからも次世代につながりますよう努力いたします。

行事名	第38回民謡おしどり会発表会		
日・時	4月26日(日) 13:30～16:30		
会場	高知プリンスホテル	入場者	85人
主催	(公財)日本民謡協会高知おしどり会／高橋輝雄		

郷土の民謡をはじめ全国各地の民謡民舞を継承していく目的で頑張りました。天気も良く楽しい一日を過ごせました。来年はグリーンホールにて盛大に開催しようと思います。

行事名	土佐中・高等学校吹奏楽部 第50回スプリングコンサート		
日・時	4月29日(水) 17:30～20:00		
会場	オレンジホール	入場者	1,458人
主催	土佐中・高等学校吹奏楽部／川崎仁哉		

第50回記念にOB・OG合同ステージを行った。準備も費用も例年より大変であったが、当日は多くのお客様に満足頂ける楽しい演奏会になったので良かった。このまま、より楽しんで頂けるコンサートを目指したい。

行事名	高知県吟剣詩舞道総連盟 第72回詩吟剣詩舞春季決勝大会		
日・時	5月10日(日) 9:30～16:30		
会場	グリーンホール	入場者	450人
主催	高知県吟剣詩舞道総連盟／氏原容石		

本年は4月から890人が参加して、高知県下7会場で開催を実施しました。本大会はこの決勝大会になります。年々参加者の高齢化が進んでいるものの、活気は失われていません。県民の皆様にも広く受け入れられる行事として、今後は広報活動に力点を置いた活動も検討すべきだと思いました。

行事名	正曲一絃琴白鷺会 春の演奏会		
日・時	5月16日(土) 13:00～15:00		
会場	かるぽーと小ホール	入場者	200人
主催	正曲一絃琴白鷺会／田中美智子		

一絃琴の本曲5曲、外曲1曲、十三絃との合奏曲2曲を演奏。日々の練習の成果をしっかりと出すことができたと思います。迫力の演奏に感動した、不思議なくらい一本の音色に聞こえた、との感想に嬉しく思いました。今後も奏法の保存、伝承に努め、伝統音楽のすばらしさを伝えていきたいと思えます。愛媛県、徳島県からの来場もあり、盛会でした。

## 音楽部門(2)

行事名	女声合唱団Coro Belfiore 第3回定期演奏会			
日・時	5月17日(日) 14:00～15:50		好天に恵まれ、多くの皆様のご支援により第3回定期演奏会が200人を超すお客様を迎えて開催できたことに感謝しています。お客様からは童謡、アニメの主題歌、タンゴ等、各々の演奏曲に懐かしさを感じながら、楽しく聞くことができたとの感想が寄せられました。回を重ねる毎に合唱のレベルが向上しているとのうれしい言葉を励みに、より美しいハーモニーを求めて精進していきたいと思います。	
会場	春野文化ホールピアステージ	入場者		213人
主催	Coro Belfiore／高橋久美			

行事名	やいろ吹奏楽団 第20回定期演奏会			
日・時	5月23日(土) 18:00～21:30		今年は第20回の記念定期演奏会として、ゲストに「QuatuorB」サクソ四重奏団をお迎えし、パワフルなステージでお客様にも好評でした。「QuatuorB」の方たちは5年前に初めて共演し、今回は2度目でしたが、更にパワーアップし、また親密度も増して楽しんでいただけました。来年は、また新たな一歩として、楽しい企画を考えていきたいと思っています。	
会場	オレンジホール	入場者		601人
主催	やいろ吹奏楽団／野町考司			

行事名	第28回民謡チャリティー 桂民謡会「民謡と舞踊の祭典」(竹内先生と懐かしい唄友を偲ぶ)			
日・時	5月24日(日) 11:00～16:00		会員の高齢化にともない会員の数も少なくなり、1人当りの費用が高くなり、なんとか故竹内先生と懐かしい唄友(故)を偲ぶ会として、清流太鼓(一番風)と横川流津軽三味線の先生に出演(応援)をしてもらい、もりあげていただいた。会場の大きさも大変よかった。	
会場	グリーンホール	入場者		400人
主催	高知桂民謡会／志磨村優子			

行事名	三曲演奏会			
日・時	5月31日(日) 13:30～16:00		今回はゲストに箏・三絃演奏家の松村エリナ、尺八演奏家の善養寺恵介、鳴り物奏者の西川啓光の各師をお招きしました。いずれも今中央の第一線で活躍されている実力ある演奏家で充実感のある舞台となりました。演奏曲数はゲスト曲3曲、協会提曲2曲、協会会員提曲5曲の計10曲で、会員曲は新曲で構成しました。ご来場頂いた皆様からはご好評の声が多く寄せられました。	
会場	県立美術館ホール	入場者		381人
主催	高知県三曲協会／松村紫乃			

行事名	高知交響楽団 第154回定期演奏会			
日・時	5月31日(日) 14:00～16:00		山根風仁氏のチェロコンチェルトは聴衆の心を揺さぶる好演であり、高知出身の若い芸術家のこれからに地元の音楽愛好家も大きな期待を抱く演奏になった。「ベートーヴェン全交響曲連続演奏シリーズ第6弾」の田園も好評であった。	
会場	かるぽーと大ホール	入場者		810人
主催	高知交響楽団／黒岩千賀			

行事名	土佐一絃琴同好会演奏会			
日・時	6月7日(日) 13:30～15:30		江戸時代から伝わる音色の特性を生かし、伝統的奏法を守りつつ、古曲(正曲)に加えて新しい外曲を、更には、ご来場の方々の要求にも応えてゆくためには相当の練習が必要となってきます。しかし、日頃の練習が思うようにいかず、会の結成当時に比べ高齢化や会員の出入りもあり、来年のことを真剣に考え直す必要を感じています。心をつ一つにして懸命に練習！を全員の目標とし、肝に銘じていくべきことと決心しています。	
会場	龍馬の生まれたまち記念館	入場者		35人
主催	土佐一絃琴同好会／野崎温子			

## 音楽部門(3)

行事名	第22回大正琴アンサンブル あじさい会の集い		
日・時	6月10日(水) 13:00～16:00		多くの方々のお力添えをいただき一年間学んだ成果を 発表することができました。今回は踊りの藤間紫公氏を はじめ、チェロ奏者・ピアニストの早川ご夫妻の演奏、太 鼓や歌の皆様方の応援もあり、楽しいひとときを過ごせ ました。会場に参加の方々から選曲が良いとの感想もい ただき大きな励みにもなりました。尚、メンバーの入退場 の仕方や演奏上のミス等を反省しながら次のステップを 乗り越えて会員一同心を一つに頑張ります。
会場	県立美術館ホール	入場者 300人	
主催	大正琴あじさい会／川島節子		

行事名	混声合唱団Pange 第12回定期演奏会		
日・時	6月13日(土) 18:30～20:30		各ステージ特色のある多彩な演奏会となった。古今の祈 りの歌を集めた1ステージ、ピアノやコントラバスと共に海 外曲をJazzyでお洒落に演奏した2ステージ、阿久悠特集 の3ステージでは当時のアイドルのダンスを取り入れ客 席が大いに沸いた。最終ステージでは三善晃の名曲「地 球へのバラード」を歌い上げた。第10回記念公演から早 2年。多くの新団員を迎え、伝統に新たな風が融合した新 Pangeを披露することができた。
会場	県立美術館ホール	入場者 388人	
主催	混声合唱団Pange／坂本雅代		

行事名	秀鳳流日本吟詠会春季競吟大会		
日・時	6月21日(日) 9:00～16:30		当流恒例行事として春と秋、二回の大会を実行していま す。会員の技術向上を図る為の春季大会はコンクール であり、毎年一定の成果を上げています。また指導的立 場にある者の香組の披露もあり、招待したお客様の関心 を引き好評でした。伝統文化の低迷が進む今日、練成 のための発表の他に、芸術としての真骨頂を披露すべ きことも痛感しています。
会場	高知プリンスホテル	入場者 150人	
主催	秀鳳流日本吟詠会／野中秀鳳		

行事名	高知マンドリン土曜日会 第46回定期演奏会		
日時	6月27日(土) 18:30～21:00		第1部では女性作曲家の作品を中心に、NHK朝ドラマッ サンより「麦の唄」、映画おくりびとより「おくりびとのテ マ」など。2部では高知ゆかりの作曲家の曲を中心に合 唱団の方々の応援をいただき「平城山」、「浜千鳥」、オ ペラ四万十より「四万十のうた」など楽しい曲が多く、御 来場の方々にも楽しんでいただけたと思います。これか らみみなさまに愛されるマンドリンクラブをめざしてい きたいと思います。
会場	オレンジホール	入場者 582人	
主催	高知マンドリン土曜日会／和田健		

行事名	第56回高知県合唱祭		
日・時	6月28日(日) 10:00～16:30		全27団体(ジュニア・中学・高校・大学・一般・おかあさん) の参加でした。ポップスから古典曲まで各団体の個性が 色濃く出る選曲となりました。会場が一体となる演出をす る団体もあり、お目当ての合唱団以外の演奏でも楽しん でいただけたようです。戦後日本を代表する合唱組曲 「水のいのち」を合同合唱し、普段合唱に縁の薄い来場 者の方にも聞いて頂くことができる大変良いきっかけに なりました。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 854人	
主催	高知県合唱連盟／上岡真土		

## 舞踊部門

行事名	第43回内山時江ダンスシアター ア・ナ・タPart10「OUT THE BLUE」			
日・時	5月16日(土) 18:00～19:00 5月17日(日) 15:00～16:00		「何の前触れもなく」ということですが実は大切なシグナルは送られている。ただそれに気付かないか無視するかなのだと鋭く指摘されていた。目に見えなくても互いが何かを感じ取り合う察知し合う。それが作品に秘められた思いではなかったか。今回がこのシリーズで1番良かったと評価を得た。来年は内山時江80才のダンスシアター。今回もその存在感や説得力のある踊りは観る方の心を震わせ涙となり溢れ出させた。また来年も！	
会場	内山時江モダンバレエスタジオ	入場者		84人
主催	内山時江モダンバレエ研究所／内山時江			

行事名	第60回白鷺おどり			
日・時	5月17日(日) 12:30～16:00		発会以来60年間毎年開催し、高知の舞踊水準向上に貢献してきた。永い歴史を持つこの舞踊会の意義深さを改めて感じました。コンクールでは市長賞に花柳寿延美「島の千歳」、若柳由喜千代「神楽娘」、高知新聞社賞に花柳颯弥月・花柳弥伶歩の「三社祭」が決定。「土佐風流」をはじめとする各演目にはベテラン勢の深い芸風と、それに続く若い力の台頭が目立ち、次代に伝統が確かに継承されている舞踊会でした。	
会場	かるぽーと大ホール	入場者		800人
主催	高知県日本舞踊協会／花柳昌延			

行事名	35周年記念モダンダンス伊野友美子舞踊研究所公演「颯さつ」			
日・時	6月6日(土) 18:00～20:00		35周年記念公演としゲストを迎えた。研究所開設からの映像も流し、多彩で、作品も満足に近い出来上がりになったと思う。	
会場	県立美術館ホール	入場者		230人
主催	モダンダンス伊野友美子舞踊研究所／伊野友美子			

## 展示部門

行事名			
高知ばら会 春のばら展2015			
日・時	5月9日(土) 10:00～18:00 5月10日(日) 10:00～16:00	出品花数413本は昨年より増加したが、入場者は大幅に減少した。ばら展開催日に10人の新入会員があり、今後のばら会運営やばら展の実行に参加してもらえれば大変楽しみである。アレンジメントや好きな花の投票が好評で、会場の雰囲気も良く、盛会となりました。切り花プレゼントも好評でした。来年はさらに出品数を増やすために、バラ栽培者に広く出品を啓発していく予定である。	
会場	かるぽーと7階第3展示室	入場者	461人
主催	高知ばら会／高橋秀一		

行事名			
第39回さつき花季展覧会			
日・時	5月23日(土)～26日(火) 9:00～17:00 (最終日は16:00まで)	例年以上のレベルの高い展覧会となりました。期間中3000人を超える県内外の入場者で連日大変賑わいました。本年度のさつき盆栽の出来栄は、審査員の方々より高い評価をいただきました。来年度は節目の40回、素晴らしい展覧会を夢見て全会員盆栽の手入りに精進いたします。今年一番のトピックスとしては、我が会に30代の新入会員が加わったことです。	
会場	県立牧野植物園	入場者	3,300人
主催	高知県さつき愛好会／毛利俊男		

行事名			
初夏のいけばな展			
日・時	6月20日(土) 10:00～18:00 6月21日(日) 10:00～17:00	会期中、さしたる事故もなく無事終了いたしました。入場者数も2674人と、昨年より107人の増となっております。来年はさらに入場者の増加を図るよう努めます。	
会場	かるぽーと7階第1・2展示室	入場者	2,674人
主催	(一社)高知県華道協和会／猪野一鐘		

## 文芸部門

行事名	第45回総合文芸展			
日・時	4月21日(火)～26日(日) 10:00～17:00(最終日は16:30まで)		会場の壁面には、短歌、俳句、詩、川柳、紙芝居の絵、メルヘンなど、約60点が趣向を凝らして展示され、陳列ケースには会員の著書、同人誌、高知ペンクラブ会報、高知文芸年鑑のほか、棕庵文学賞、県出版文化賞、寺田寅彦記念賞、高知出版学術賞の受賞図書も展示され、内容の充実した文芸展であった。来年に向けて広くPRを行い、さらなる文芸の発展を目指したい。	
会場	かるぽーと7階第5展示室	入場者		490人
主催	高知ペンクラブ／島総一郎			

行事名	第44回高知県俳句大会			
日・時	5月31日(日) 9:00～17:00		本年は246人より1020句の投句があり、選考委員の選により優秀作品(高知県知事賞)等の表彰、講評等を行い午後には恒例の当日大会を行い、会員相互の親睦、研修を図った。高齢化に伴う会員減が続いているが、他方で新たな句会がいくつか発足、順調な活動が続いており、この方面への注力を図る。	
会場	こうち男女共同参画センター「ソーレ」	入場者		112人
主催	高知県俳句連盟／山本呆斎			

行事名	平成27年度帆傘川柳大会			
日・時	5月31日(日) 10:30～17:30		大阪、徳島、香川、愛媛等からと、高知県各地からの100人を超える参加者で盛会となりました。欠席投句者をあわせると150人の参加となり、川柳大会の規模としては県内一のものとなりました。会の運営はスムーズで、予定時刻どおりトラブルなく終了しました。選者が県外3人、県内5人で、ともに充実した選でした。会場で開催した岡村嵐舟展は好評でした。	
会場	高知会館	入場者		110人
主催	帆傘川柳社／小笠原望			

行事名	第14回高知県漢詩大会			
日・時	6月27日(土) 13:00～17:00		観客・来賓者数は年々微減ではあるが、それでも日本古来の伝統文化である漢詩の深遠で汲めども尽きぬ魅力と静かなブームに後押しされそここの成果を得ることができた。反省点としては、大会事前の宣伝不足で、今後の課題である。漢字離れの昨今であるが、漢詩に一人でも多くの皆さんに親しんでもらい、また後世へ傳承していくため、我々会員は日々の研鑽はもとより対外への宣伝に力点を置き、もって会員の増加を図る。	
会場	高知商工会館	入場者		80人
主催	高知県漢詩連盟／藤原稔			

## その他

行事名 ライブドローイング「五十嵐英之×倉地雅徳の描画活動」			
日・時	4月18日(土) 14:30～16:30 4月19日(日) 10:00～12:00	一日目は予定通りライブドローイングを開催できたが、二日目は倉地氏の体調不良により、急遽一日目の記録映像上映と五十嵐氏の講演という形で楽しんでいただいた。展覧会会場の無数の作品が、どのような二人の関係の中で生み出されるのかを、多くの方が注目してくださったようで、来場者も予想以上だった。	
会場	藁工ミュージアム展示室	入場者	87人
主催	藁工ミュージアム／大内郁		

行事名 白石潔講演会「自閉症者と絵を描くことについて」			
日・時	4月25日(土) 14:00～16:00	展覧会 Live with Drawing 展の関連するイベントとして開催したが、予想以上に関心と呼ぶことができた。「自閉症者」という特別な考察対象・ニーズは、教育関係、医療関係などで特に関心が高いことが明らかになった。	
会場	蛸蔵	入場者	50人
主催	藁工ミュージアム／大内郁		

行事名 香道古心流土佐伽羅の会 香を楽しむ			
日・時	4月26日(日) 10:00～12:00・13:00～15:00	天気恵まれ、たくさんの来場者があり盛会であった。和歌を主題として、卯の花香を鑑賞していただいた。寺田邸の庭の景色と共に日常と異なる空間と香りを体験し、良い時間を持つことができた、安らぎを覚えたなど、嬉しい言葉をいただいた。多くの方に体験していただけますよう、この会を続けていきたいと思う。	
会場	寺田寅彦記念館	入場者	41人
主催	香道古心流土佐伽羅の会／藤本淑峰		

行事名 第41回高知市教育長杯かるた大会			
日・時	6月28日(日) 10:00～15:30	今年の大会は、遠く室戸市の甲浦中学校からの参加もありましたが、参加校参加者数共もうひと頑張り増やしたいところです。平成32年に、全国高等学校総合文化祭の高知県開催が決定しました。多くの中学高校にかかるクラブや同好会を作り、部員の育成を手伝い、開催県にふさわしい準備に向かいます。	
会場	南部健康福祉センター	入場者	36人
主催	高知かるた会／吉本健二		

行事名 第19回三里友の会文化祭			
日・時	5月31日(日)～6月28日(日)	参加グループの高齢化により、毎年開催が危ぶまれるなか今年も一丸となり頑張りました。来年は文化祭20周年という大きな節目を迎え皆で力を合わせ三里文化祭の灯を消さないように努力・精進したいと思います。	
会場	三里文化会館	入場者	750人
主催	三里文化推進友の会／平石真知子		
			・5月31日 「三里社交ダンスパーティ」 100人 ・6月14日 「春がきた」 200人 ・6月21日 「藤間紫公」おどりの会 150人 ・6月28日 「坂東喜寿の会」をどりの会 300人

行事名 参加興行映画			
日・時	4月25日(土)～6月30日(火)	入場者内訳 (邦画) 4月25日～6月5日「王妃の館」 1,137人 5月16日～6月19日「駆込み女と駆出し男」 2,483人 (洋画) 4月25日～6月28日「シンデレラ」 14,542人 6月6日～6月30日「トゥモローランド」 1,646人(上映中)	
会場	TOHOシネマズ高知	入場者	19,808人 (上映期間中)
主催	高知県興行生活衛生同業組合		